

## 目 次

---

総説	
北海道和種馬の遺伝的特徴と繁殖戦略	天野朋子 1
馬事往来	
離陸する近代競馬—社会史の視点から—	山本雅男 10
見えない存在を「わかる」へ——木曾馬標本がつなぐ教育と文化	梅村綾子 20
馬事資料	
人物日本近代馬術史試論（その4）	池田 収 26
お知らせ	36
協賛団体・賛助会員名簿	37
投稿基準	38
編集後記	39

---

Hippophile No. 103

## —編集委員—

編集担当常任理事・編集委員長	楠瀬 良（日本装蹄協会）
編 集 委 員	阿部 憲二（全国乗馬倶楽部振興協会）
	末崎 真澄（馬の博物館）
	明石祐一郎（地方競馬全国協会）
	関 正喜（ジャーナリスト）
	荒川由紀子（サラブレッド・アフターケア・
	アンド・ウェルフェア）
	戸崎 晃明（競走馬理化学研究所）
	永井富美子（エディター）
	有吉 正徳（競馬ライター）
	沼田 恭子（NPO 法人引退馬協会）
	安齊 了（元JRA/競走馬理化学研究所）
	古林 英一（北海学園大学）
	北野あづさ（日本馬術連盟）
	三浦 暁子（エッセイスト）
	木村李花子（東京農業大学）
	守谷 久（ジャーナリスト）
	近藤 誠司（北海道大学）
	山下 大輔（日本馬事協会）
	近藤 高志（JRA 競走馬総合研究所）

表紙絵：騎手（The Jockey）：アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック（1864-1901）1899年 49.8×34.1センチ多色刷り  
リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

---

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science